

# 日本農業労災学会 Newsletter

## 第8号(No.8)2018年3月23日発行

●発行：日本農業労災学会事務局

〒184-0004 東京都小金井市本町1丁目8番14号

サンリープ小金井305

麒麟社会保険労務士事務所内

電話番号 042-316-6420/FAX 042-316-6430

E-mail : irikiin@kirin-office.com

ホームページ : <http://jfapr.jp/>

会員各位

日本農業労災学会

会長

門間 敏幸

第5回大会実行委員長 田島 淳

## 2018年度（第5回）シンポジウムの開催について

平素より学会活動につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第5回シンポジウムについての開催概要がまとまりましたので、ご案内をさせていただきます。多くの会員の皆様、この分野に関心をお持ちの皆様をお誘いの上、是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

## 2018年度（第5回）シンポジウム開催概要

1. 開催日時：2018年5月18日（金） 10：00～17：00
2. 会場：東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂（東京都世田谷区桜丘1-1-1）  
（農大アカデミアセンター 地下1階）
3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会3研究部会  
（労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会）
4. 後援団体：JA 連合組織、JA 単協など内諾中

### ■第5回シンポジウムのテーマ

「農業労災事故防止技術・仕組み開発の新たなチャレンジ」

## ■開催趣旨・ねらい

これまで日本農業労災学会では、ヒューマンズムの視点から農作業事故防止のための課題と労災マネジメント、労災補償対策の在り方を解明するとともに、農業労災事故撲滅に果たす自助、自助を支えるJA組織、農業労災コンサルタント、農業機械士、社会保険労務士、医師などの共助、自助・共助の活動を支える国・県・市町村などの公助の連携の在り方等について論議してきた。

本年度は、これまでのシンポジウムの成果を受け継ぎながら、農作業事故防止につながる最新技術に関する研究成果に焦点を当てるとともに、それらの成果を組織的に活用する主体として期待されるJAや社労士の活動方向について論議を深めることを目指す。具体的には、IoT、AI、ロボット技術などの成果の最前線を農作業事故防止の視点から学ぶとともに、人間工学や医学的な視点から実践的な農作業事故防止方策についての知見を深めたいと考えた。また、それらの先端技術の成果を受け入れた農作業事故防止のためのGAPの推進、JAや社労士の組織的な取り組みについても論議したいと考えている。

そのため、2018年度のシンポジウムでは、以上の問題意識に基づき『農業労災事故防止技術・仕組み開発の新たなチャレンジ』という統一テーマを設定した。すなわち、農作業事故を撲滅するためには、営農組織ならびに個々の経営者の問題意識を高めて自助を促す運動論的な活動だけでなく、最先端の技術成果を自助・共助・公助が連携して組織的に活用することが不可欠であるという基本認識に基づき、農業労働災害防止に貢献できる最先端の技術開発、防止システムの開発に取り組んでいる研究者、実務家さらには昨年を引き続き日本農村医学会との連携を強化するために報告をお願いした。

## 5. プログラム

- |   |             |
|---|-------------|
| 1) 受付開始   | 9:30～       |
| 2) 主催者挨拶： 学会会長・門間 敏幸（東京農業大学 名誉教授）   | 10:00～10:05 |
| 3) 開催校挨拶：   | 10:05～10:10 |
| 4) 座長解題：北田 紀久雄（東京農業大学国際食料情報学部教授）<br>入来院 重宏（キリン社会保険労務士事務所・所長）  | 10:10～10:20 |
| 5) 基調報告   |             |
| 第1報告 農業ロボット技術による農作業事故防止の可能性<br>長坂 善禎（農研機構東北農業研究センター生産基盤領域作業技術グループ長）   | 10:20～10:45 |
| 第2報告 農業情報技術による農作業事故防止の可能性<br>—危険個所接近警戒アプリの開発—<br>手島 司（農研機構農業技術革新工学研究センター労働・環境工学研究領域安全人間工学ユニット主任研究員）   | 10:45～11:10 |
| 第3報告 学会監修翻訳ILO『Ergonomic checkpoints in agriculture』農業における人間工学的チェックポイント—農業における安全改善、健康改善、労働環境改善のための実践的・実行しやすい解決法』に見る効果的な事故防止対策について—<br>田島 淳（東京農業大学地域環境科学部教授） | 11:10～11:35 |
| 第4報告 人間工学から考える農作業事故防止の方策<br>菊池 豊（農研機構農業技術革新工学研究センター労働・環境工学研究領域労働環境技術評価ユニット長）  | 11:35～12:00 |

<休憩・昼食>	12:00～13:10
*第7回理事会(会場は当日案内)	12:00～12:40
*第6回会員総会:(会場:横井講堂:*シンポと同じ)	12:40～13:10
第5報告 農村医学の視点から見た農作業事故防止の方策	13:10～13:35
大浦 栄次(富山県農村医学研究所主任研究員・日本農村医学会会員)	
第6報告 農協組織における実践的な事故防止対策	
一大分県JAグループの労働保険事務組合の取り組みを中心に—	13:35～14:00
兼高 秀樹(大分県農協中央会担い手支援部主任)	
第7報告 社労士からの実践的な農作業事故防止対策の提言	14:00～14:25
矢島 友幸(矢島社会保険労務士事務所・所長)	
6) コメント(30分) 3名	14:25～14:55
コメンテーター	
(1) 半杭 真一(東京農業大学国際食料情報学部准教授)	
(2) 宮永 均(JAはだの専務理事)	
(3) 松岡 公明(農林年金理事長)	
<休憩>	14:55～15:15
7) 全体討論	15:15～16:35
8) 座長総括	16:35～16:45
9) 閉会の挨拶	16:45～16:50
<*個別報告希望者がある場合は、16:50～17:30に時間設定して実施>	
10) 交流会(レストラン すずしろ)	17:30～19:00
(個別報告希望者がいない場合の交流会: <u>17:00～18:30</u> )	

## 6. 参加費等・申込み手続き

### 1) 参加費等

- (1) シンポジウム及び交流会への参加費: 5,000円
- (2) シンポジウムのみ参加費: 2,000円
- (3) 交流会のみ参加費: 3,000円
- (4) 不参加のため資料送付を希望の場合の代金: 2,000円(送料込)

### 2) 申込み手続き

#### (1) 申込期限と申込み先

①個別研究報告を受け付けております。ご希望の方は、氏名・所属・連絡先住所・電話・E-mail・研究報告の題目を4月16日(月)必着、報告要旨(1,000文字以内)を4月23日(月)必着で、学会事務局(1ページ扉参照)並びに下記の田島 淳シンポジウム実行委員長宛(E-mail: [tajima@nodai.ac.jp](mailto:tajima@nodai.ac.jp))にお申し込みください。

②シンポジウム参加等をご希望の方は、資料作成の準備がございますので、4月23日(月)必着で同封の返信用ハガキの該当欄に○印をご記入の上、お送りください。

(2) 参加費等は、同封の郵便振替票の該当欄に○印を付けて金額をご記入の上、5月7日(月)ま





### 小田急線

- ◆ 経堂駅下車 徒歩 約 15 分
- ◆ 千歳船橋駅下車 徒歩 約 15 分  
バス 約 5 分 <千歳船橋駅～農大前>  
東急バス 渋谷駅行… (渋 23) 等々力操車所行… (等 11) 用賀駅行… (用 01)

### JR 山の手線

- ◆ 渋谷駅下車(渋谷駅西口) バス 約 30 分 <渋谷駅～農大前>  
小田急バス 成城学園前駅西口行………… (渋 24) 調布駅南口行………… (渋 26)  
東急バス 成城学園前駅西口行………… (渋 24) 祖師ヶ谷大蔵駅行………… (渋 23)

### 東急田園都市線

- ◆ 用賀駅下車 徒歩 約 20 分・バス 約 10 分 <用賀～農大前>  
東急バス 世田谷区民会館行………… (園 02) 祖師ヶ谷大蔵駅行………… (用 01)

### 東急東横線

- ◆ 田園調布駅下車 バス 約 30 分 <田園調布駅～農大前>  
東急バス 世田谷区民会館行………… (園 02)



## 入会状況

2018年3月3日現在の入会状況をご報告いたします。

1号 正会員・・・120名

2号 学生会員・・・0名

3号 賛助会員・・・20名

合 計・・・・・・・・140名

## 新規に本学会に加入を希望される方・その他（会員外）

### 「シンポジウム・交流会等への参加申込書」

送付日：2018年 月 日

日本農業労災学会事務局御中

(FAX⇒03-5651-0408、E-mail⇒ [irikiin@kirin-office.com](mailto:irikiin@kirin-office.com))

(該当欄に○印を記入して4月23日(月)必着でお送りください)

<input type="checkbox"/>	シンポジウム及び交流会の両方に参加
<input type="checkbox"/>	シンポジウムのみ参加
<input type="checkbox"/>	交流会のみ参加
<input type="checkbox"/>	不参加のためシンポジウム資料送付を希望
会員氏名：	(カタカナ: )
連絡先住所：	〒
連絡先電話：	
連絡先FAX：	
連絡先E-mail：	

\*学会事務局に「参加申込書」が到着次第、振込用紙をお送りいたしますので、参加費などの事前送金をお願いいたします。

\*入会を希望される方は、本学会（ホームページアドレス：<http://jfapr.jp>）から入会申込書にアクセス頂き、入会申込書にご記載の上で本学会事務局宛にFAX等でお送りください。

以上